

会議結果の概要

- 会議名:第1回大野城市立地適正化計画専門会議
- 日時:令和7年7月7日(月)14:15~16:00
- 場所:大野城市役所 本館3階 庁議室
- 出席者:委員 10人中出席9人 事務局3名
- 傍聴人:1名
- 会議要旨:下記のとおり

1. 会長及び副会長選出

委員互選による会長選出、会長の指名による副会長選出

2. 議案

議案(1) 立地適正化計画の策定について

(事務局より)

立地適正化計画の概要、今後の策定スケジュールについて説明

(委員からの主な意見)

なし

(事務局より)

計画策定の趣旨、大野城市の現況の整理について説明

(委員からの主な意見)

- ・都市施設や交通インフラの徒歩圏域の基準が、都市施設の徒歩圏域は半径 800m、鉄道は半径 500m、バス停は半径 300m となっているなど統一されていない。
バス停は高齢者への配慮と理解できる一方で、都市施設の半径 800m という基準は高齢者が多い施設や地域では現実的に難しいのではないかと。市の実情に応じた柔軟な基準設定が必要であり、一律に半径 800m でカバーされているとするのは適切ではない。
- ・都市構造のレーダーチャートで示されたデータについて、全国平均との比較で「良い」「悪い」を判断するのは必ずしも適切ではない。全国平均が最適かどうかはわからないため、その評価基準や捉え方について工夫が必要と考える。特に「高齢者や障がい者に配慮した安全で暮らしやすいまちづくり」に関しては、まちづくりに関する市民アンケートの結果を踏まえ、具体的な取り組みにつなげるため、結果の解釈を考える必要がある。
- ・春日市が立地適正化計画を策定済みで、太宰府市が現在作成中の状況を踏まえ、公共施設の利用について連携を図るなど、3市の広域的な視点で計画を考えるべきではないかと。

(事務局より)

大野城市の課題の整理、都市づくりの方針、目指すべき都市の構造について説明

(委員からの主な意見)

- ・都市防災に関する現況の記載について、「隣接する他市町村と比較すると各指標について

大きな差が発生しておらず」とあるが、市内を警固断層が通っているため、地震に関する記載も必要である。大野城市は地震リスクが少し高いと認識するべきである。

- ・宇美断層に関する記載も追加してはどうか。
- ・大野城市には4つの商店会があるが、交通網や公共交通の課題により、にぎわいの形成に苦慮している商店会がある。
- ・乙金第二土地区画整理地区は交通の利便性に課題がある。
- ・「まちづくりの理念と方針」について、「災害リスクの低減・回避を目的とした土地利用の誘導」とあるが、大野城市の中心部は災害リスクが高い警固断層付近に集中しており、土地利用の考え方と災害リスクが相反し、誘導は難しいと感じるため、記載の仕方を注意する必要がある。
- ・立地適正化計画の目的のひとつに、都市計画マスタープランに基づくまちづくりを推進するための補助金等の支援措置を得ることが記載されているが、本プランに基づく具体的な事業内容や活用する補助金について確認したい。
- ・鉄道駅が隣接する都市の住民にも利用されている状況を踏まえ、交通結節機能や都市機能について広域的な視点で検討し、計画に反映するべき。

3. その他(事務局からの報告等)

意見記入用紙の配布・提出について説明

以上